



駒ヶ根工業高校の生徒たちが中学生らにスマホ使用の注意点を教えた「いいじま未来塾」特設講座

学習支援を希望する中学生を対象に地域住民が指導する飯島町の「いいじま未来塾」は29日、今年度初めての特設講座を飯島中学校で開いた。

駒ヶ根工業高校（駒ヶ根市）情報技術科3年の田中昂さん（17）をはじめとする高校生5人が、スマートフォン使用の注意点を説明する「スマホキヤラバン」を実施。中学生や教職員、地域住民ら約20人が聞き入った。

地域に開かれた学習の機会として特別講座は年数回行っている。田中さんはこの日、メールやSNS（インターネット交流サイト）を利用する上で起こり得る架空請求やスマホのウイルス感染など

の危険性について話した。画像や動画を不用意にSNSに投稿すると、影の形や電車の走行音などから居場所や自宅が特定され「いたずら電話や嫌がらせの対象になつてしまふ」と強調。投稿時は情報が写り込まないようになることや音声を消すことなどを対策として紹介した。

スマホをめぐる悩み事を抱えている中学生に対してアドバイスをするグループワークも行った。

スマホ使用 注意を

いいじま未来塾が
飯島中で特設講座 駒工生が説明

日刊

上伊那



ご購読ありがとうございます

7月31日（水）

発行所 長野日報社

〒392-8611 諏訪市高島3 ☎0266-52-2000㈹

©長野日報社2019